

津軽広域連合だより

tsugarukoikirengo

DAYORI

平成22年7月

Vol.32

あなたのまわりの
季節を感じるもの

地域資源 特派員募集!!

「あなたのまわりの“季節を感じる”もの」を報告してくれる特派員を募集中です。思いがけない、これまで気付かなかった新たな津軽の風物詩を見つけてください!

詳しくは次のページ

地域資源（ちいきしげん）ってなに？



地域に存在する特徴的なものであれば、動物・植物・風景・祭事・食べ物など、何でも地域資源になります。

あなたの日常生活において当たり前にあるものが、活用次第で地域の魅力を大きく向上させる可能性を秘めています。

特派員になるには？

津軽広域連合圏域（弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村）内に在住、在勤または在学している方であれば誰でもなれます。特別な資格などは一切不要です。

特派員の登録を希望される方は、各市町村窓口、公共施設などに備え付け（または当広域連合ホームページからダウンロード）の登録申込書を記入のうえ津軽広域連合まで送付してください。なお、登録された方全員に特派員証を送付します。（9月以降予定）

特派員になったらどんなことをするの？

日常生活を送る中で、テーマに合った地域資源を見つけ、場所、時期、感じたことなどをレポートにして提出してください。今年のテーマは「あなたのまわりの“季節を感じる”もの」です。

「これちょっといいかも...」と思うものがあればどんなささいなものでもどんどん報告してください。

報告例

平成22年度「地域資源特派員事業」レポート

あなたのまわりの“季節を感じる”もの

投稿日 平成22年 2月 5日

特派員 No. QQ 氏名・ペンネーム 達名 太郎

冬も終わりに近づいた2月下旬ごろ、弘前市地の口にある職場の窓から見えた朝もやの風景です。普段見慣れた雪原に、農機具等が置かれた寂風景な景色が、一面真っ白な霧に覆われ、幻想的な雰囲気になっていました。何気ない風景も、ちょっとしたことで大きく変わるということを実感した瞬間でした。雪と霧の共演も、なかなかいいものですね。だんだん暖かくなってきているのかな？と感じさせる光景でした。



レポートはどうやって提出するの？

所定の様式などを使用してレポートを作成し、写真があれば添付して、郵送、FAX、またはパソコン・携帯電話の電子メールなどで提出してください。

郵送、FAXによる提出を希望される方には、レポート様式、返信用封筒（郵送の場合のみ）を当方より送付します。

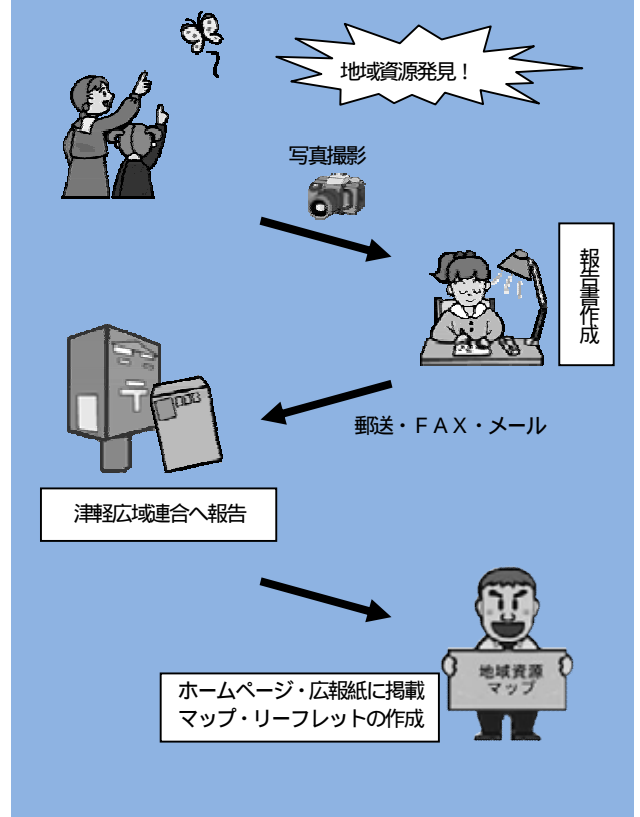


報告したレポートはどうなるの？

報告していただいたレポートをとりまとめ、マップやリーフレットを作成し、圏域内に配布する予定です。また、津軽広域連合のホームページや広報紙にも随時掲載します。

ペンネームでの公表も可能です。

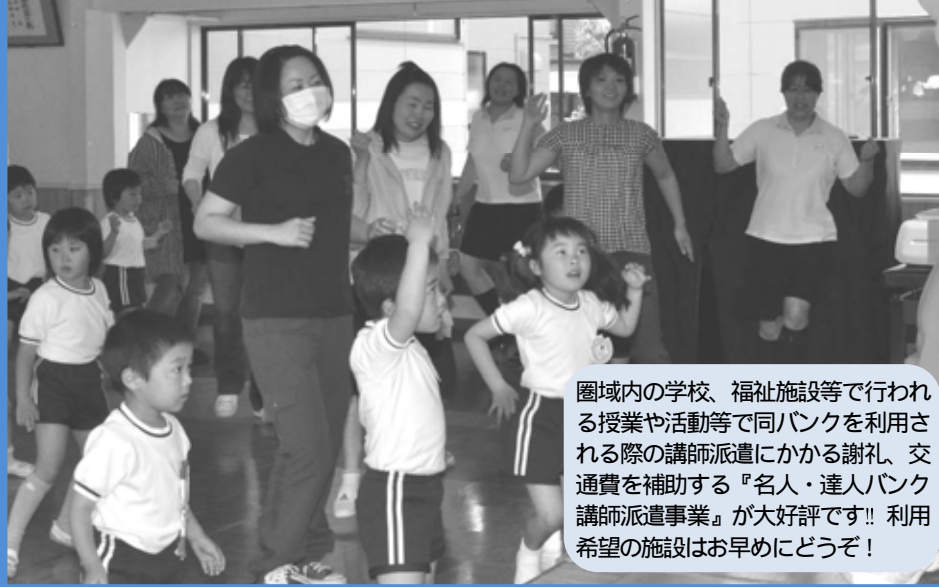
報告から公表までの流れ



ただいま特派員を募集中です。どしどしお申し込みください。わからないことがありましたら気軽にお問い合わせください。

大好評です!!

名人・達人バンク 講師派遣事業



圏域内の学校、福祉施設等で行われる授業や活動等で同バンクを利用される際の講師派遣にかかる謝礼、交通費を補助する『名人・達人バンク講師派遣事業』が大好評です!! 利用希望の施設はお早めにどうぞ!

今年度最初の名人・達人講師派遣事業として6月5日(土) おおわに文化幼稚園においてバンク登録者の白幡美鈴さん(登録 7)を講師に迎え、イベント『親子で楽しもうエアロピクス』が行われました。このイベントは、親子のコミュニケーションを深めることと保護者の運動不足の解消を目的に同園が実施したもので、園児と保護者、職員たち約40名が参加しました。まずは体を曲げ伸ばす準備運動から始まり、その後音楽にあわせて本格的なエアロピクス運動に入ると、参加者たちは白幡さんの指導を受けながら心地よい汗をかいていました。活気あふれる雰囲気の中、親子ともども終始笑顔のまま体を動かし続け、あっという間に時間がすぎました。最後の柔軟体操が終わった後、参加者からは「親子のスキンシップがとれて充実した時間を過ごせた」、「楽しくパワフルな講師から元気をもらった」との声が聞かれました。

新議員紹介

新たな津軽広域連合議会議員として板柳町の長内良藏議員が選出されました。



津軽のイベント情報

黒石「大川原の火流し」

津軽広域連合が昨年度実施した、とっておきの津軽大賞コンテストで写真部門最優秀賞を受賞した田澤安宣さんの作品(右写真)の題材となった黒石市の「大川原の火流し」が、今年も8月16日に行われます。

昭和58年に県の無形民俗文化財に指定されたこの伝統行事は、600年程前の南北朝時代に始めた精霊流しが起源だと伝えられています。

稲に見たてアシガヤで編んだ3隻の舟に火をつけ、500mほど下流の大川原橋まで川を下り、その火の燃え具合から、翌年の豊凶を占います。

火の粉が飛び散る中、激流を必死に下るさまは、さながら戦国時代をほうふつとさせる勇壮な炎の絵巻となって、見る人の感動を誘います。ぜひ一度ご覧下さい。
【問合せ先(社)黒石観光協会 52-3488】



津軽広域連合の財政状況 (平成22年3月末日現在)

財産の現在高	
【基金】	
ふるさと市町村圏基金	959,009千円
財政調整基金(総務分)	10,995千円
財政調整基金(介護分)	6,869千円
財政調整基金(障害分)	4,058千円
計	980,931千円
【物品】	
自動車	1台
介護認定オンラインシステム	1式
公共施設予約システム	1式
地方債の現在高	0千円
一時借入金の現在高	0千円

平成22年度歳入歳出予算 (千円、%)

	科目	予算額	構成比
歳入	分担金及び負担金	154,206	87.9
	財産収入	6,912	3.9
	繰入金	14,346	8.2
	諸収入	16	0.0
	計	175,480	100.0
歳出	議会費	1,454	0.8
	総務費	54,455	31.1
	民生費	112,143	63.9
	基金積立金	6,912	3.9
	公債費	66	0.0
	予備費	450	0.3
	計	175,480	100.0
	人件費	151,228	86.2
	物件費	12,751	7.3
	補助費等	4,073	2.3
性質別	公債費	66	0.0
積立金	6,912	3.9	
その他	450	0.3	
計	175,480	100.0	

平成21年度歳入歳出予算執行状況 (千円、%)

	科目	予算現額	執行済額	執行率
歳入	分担金及び負担金	157,142	157,142	100.0
	財産収入	6,708	6,708	100.0
	繰入金	10,542	10,542	100.0
	諸収入	761	967	127.1
	国庫支出金	1,742	1,742	100.0
計	176,895	177,101	100.1	
歳出	議会費	3,577	2,733	76.4
	総務費	54,092	50,744	93.8
	民生費	110,260	101,245	91.8
	基金積立金	8,450	8,450	100.0
	公債費	66	0	0.0
	予備費	450	0	0.0
	計	176,895	163,172	92.2
	人件費	148,335	140,021	94.4
	物件費	15,090	11,268	74.7
	補助費等	4,504	3,433	76.2
性質別	公債費	66	0	0.0
積立金	8,450	8,450	100.0	
その他	450	0	0.0	
計	176,895	163,172	92.2	

ふるさと探訪 バスツアー

平成19年度の開始以来、例年およそ4倍の応募倍率となっており高い人気を博しています。

今年は訪問コースを大幅にリニューアルして8月29日(日)に実施します。

両コースあわせて10か所の訪問先(昼休憩地含む)のうち、Aコースの瑞楽園、革秀寺(ともに弘前市)、Bコースの古懸不動院国上寺(平川市)などをはじめ8か所の新たな訪問先を設定しています。

「名前は知っているけど行ったことが無い」、「歴史的な背景をくわしく知りたい」という方はぜひこの機会にご参加ください。ご応募をお待ちしております。

開催日 平成22年8月29日(日)

集合 8時45分 弘前市役所駐車場集合

時間 9時00分出発 16時頃終了予定

対象者 弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村内在住の方

募集人数 各コース40名 計80名

参加費 1名につき500円 昼食は各自で用意



応募方法 ハガキに参加希望のコース、住所、氏名、年齢、電話番号を明記(1枚のはがきで2名まで応募可)

2名で応募の場合は代表者の名前にをつけてください。

応募締切 平成22年8月13日(金)必着

応募者多数の場合は抽選としますが、初参加の方を優先します。

応募者全員に、後日、決定通知を送付します。

申込み・問い合わせ先

〒036-8276 弘前市大字樋の口町260番地4

津軽広域連合「ふるさと探訪バスツアー」係(電話39-7200)



白神山地ビジターセンター(西目屋村)
巨大スクリーンでの映像体験は迫力満点!



瑞楽園(弘前市)
庭内に残る農家住宅はNHK大河ドラマ「いのち」に使われました



ふるさとセンター(板柳町)
学んで、遊んで、泊まれるりんごの里を見学



藤崎城址(藤崎町)
安東氏の居城として、鎌倉・室町時代を通して使用された平城



革秀寺(弘前市)
国指定重要文化財の本堂、為信霊屋と蓮などの緑との見事な調和

A コース

or

B コース



中世陶芸の郷 津軽烏城焼(黒石市)
多数の貴重な焼き物と“登り窯”を見学します



埋蔵文化財センター・博物館(田舎館村)
足跡の残った水田跡が保存展示されています



道の駅いかりがせき関の庄(平川市)
関所資料館等がある津軽の玄関口で昼休憩



古懸不動院国上寺(平川市)
「ねまり不動」は津軽三不動尊の一つ



茶臼山公園・俳句の小径(大鰐町)
69の句碑が立ち並ぶ俳句の小径を散策します

津軽広域連合は、弘前市・黒石市・平川市・藤崎町・板柳町・大鰐町・田舎館村・西目屋村の8市町村により、介護認定及び障害程度区分判定審査・各種ソフト事業などの様々な事務事業を共同で実施する 特別地方公共団体です。

(問い合わせ) 0172-39-7200

〒036-8276

青森県弘前市大字樋の口町 260 番地 4

詳しくは web で

津軽広域連合

検索